



岸 高明の議会だより

事務所 茅ヶ崎市新栄町7-1 岸ビル6F
自宅 茅ヶ崎市本村4-10-8

Tel 0467-51-4838
Fax 0467-51-4839

<http://www.takaaki-kishi.com/>

mail: t-k@takaaki-kishi.com

茅ヶ崎市監査委員 会派茅ヶ崎クラブ会長 都市建設常任委員会委員 議会運営委員会委員



新聞やテレビでは、好景気のような色やファッションが流行だと報じています。人々が明るい気持ちで暮らす日々は、なんとはなしに嬉しいものです。

アベノミクスと呼ばれる経済政策が功を奏し、経済に明るさが出てきているようですが、市民全体が恩恵を浴する状態になっているとは言えないようです。消費税の増税もあります。日本経済の正念場であるという経済評論家もいます。

茅ヶ崎市の財政は、裕福とは言えませんが、さりとて困窮状態でもありません。無駄遣いをせず必要な政策を見極め実行する冷静な判断が必要です。市民生活が安心して暮らせるよう市議会議員としての責務を果たしてまいります。

監査委員の仕事



本年(平成25年)の6月議会で、議会としての監査委員として私が選任されました。議会における他の役職と同じ任期は2年です。

茅ヶ崎市では、識見として森 誠一弁護士・池田雄二郎公認会計士、そして、議会選出の私の3名が監査委員に選任されています。

監査制度は市長指揮監督外の独立した機関です。議会選出の監査委員であっても、時として議会とも距離をおきます。例えば、市の会計の決算審査を行いました。私は加わっていません。なぜならば、決算審査以前に、監査委員として決算監査を行い、議会に決算監査報告書を提出している立場なのです。そのため、決算審議では、議員席と向き合う議員から質問を受ける反対側の席となります。他にも、監査委員としての立場から、議会活動において、制限を受ける事などがあります。



柳島スポーツ公園はPFIで

柳島のスポーツ公園整備は、ほぼ用地買収が完了し、施設整備の段階に入りました。施設建設から管理運用まで民間のノウハウを活用するPFI方式を導入します。手順は、民間事業者が施設を建設した後、市に所有権を移転し、民間事業者が20年間管理運営を行うBTO方式で行います。PFI導入効果見込約7.24億円削減
☆開園は、平成30年3月末を予定。
☆設計・建設関連コスト約56.59億円
☆20年間維持管理・運営コスト約22.88億円
※上記に用地買収費は含まず。

市民の代表としての議員としては、辛い面があります。しかし、監査委員制度に議会選出の議員が加わる意味も大きいのです。

~~~~ 監査委員とは ~~~~

地方公共団体の予算の執行や財産の管理、地方公営企業の経営のほか、一般行政事務について、公正で効率的な運営が確保されているかどうかを点検する委員。首長が議会の同意を得て、人格が高潔で、自治体の財務管理、事業の経営管理その他行政運営に関し、優れた識見を有する者および議員のうちから選任する。識見を有する者の中から選ばれる監査委員が2人以上の場合には、少なくとも1人は選任前の5年間に当該自治体の職員であってはならない。監査には、一般監査(財務に関する定期監査と随時監査、一般行政事務に関する行政監査)と、住民からの直接請求や議会からの請求、知事(市長)の要求などによって行う特別監査がある。

北山俊哉 関西学院大学教授 / 笠京子 明治大学大学院教授



## 保健所を県から市へ

県の保健所を本市に移管する計画を市が発表しました。地域保健サービスを県より身近な市が一元的に提供出来るとしています。しかし、事の発端は、市役所近くの県保健所の施設が老朽化したため、下町屋にある県衛生研究所に移転するとの県の情報を得て、本市の行政拠点地区から遠くなり不便となる等から、市に移管しようとなったもの。年間事業費約1億6千万を見込み、正規職員41名と臨時・非常勤職員13名で、正規職員給与費等約3億5千万円との推計です。平成29年度の移行を目標としています。財源には、地方交付税や県の負担などがあり、県との協議等が必要です。

処置現状の老朽化した施設の改修費用、新たな施設建設も考慮する必要があります。市の負担増が市民サービス向上に繋がるかが課題です。

本市(特例市)の規模の市が保健所を運営するのは稀。市が保健所を設置しているのは、本県では、政令指定都市と中核市を除くと中核市規模だが中核市ではない藤沢市だけとなります。

※国の地方制度調査会の答申に特例市の保健所の移管あり



## 茅ヶ崎ゆかりの人物館

開高健記念館の北側に隣接する土地を購入しました。茅ヶ崎にゆかりのある文筆家などをはじめとする文化人を紹介するための施設を作ります。来年(平成26年)秋からの利用開始予定です。隣の開高健記念館などと共に茅ヶ崎らしい施設となります。施設が遺産として時間軸を止めた場では無く、新たな文化を築いてゆく、今に生きる人々ために活用される施設にしたいと思います。



## 高座郡衙の保存

茅ヶ崎北陵高校周辺で発見された高座郡衙遺跡は、国指定の遺跡保存の準備中。県では高校の仮設校舎解消のために、遺跡を傷めない木造校舎で建設すると発表しています。完全復元展示の費用は多額です。校舎移転の可能性の再検討、校舎と遺跡が共存出来る復元展示方法の優れたアイデアを模索しています。



## 市役所の建て替え

新庁舎の建設工事は、設計が完了し、簡易型総合入札評価方式による審査の結果、戸田建設・亀井工業のJVが65.7億円(消費税別)で落札しました。12月議会で契約議案が審議される見込みです。

平成27年度中に新庁舎が利用開始される予定です。今回の発注は、建築と電気・機械の設備工事を一括発注し、市内経済活性化の項目を加えた評価方式としています。

当初、市民に説明していた計画に比べ、延床面積の増加、労務単価の上昇、消費税率の増税を原因とし、約7億6千万円を追加補正した新庁舎建設事業の予算となっています。

☆新庁舎延床面積:17,926㎡(現庁舎14,000㎡)

☆地下駐車場と分庁舎への渡り廊下含めた延床面積:20,052㎡

(上記に付属建物と分庁舎含め28,750㎡)

☆地下1階柱頭免震構造

☆鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨

○現在の西側駐車場の場所に建設。

○消防本部と通信指令室が入る。(消防署では無い)

○地下駐車場と分庁舎への渡り廊下あり

